



ヤングアダルト

YA本研究会だより 2020.1Vol.5



■編集作業にはいいます！

令和2年1月19日第6回目の研究会が開かれました。学校行事終了後、10分しかないのに駆けつけてくれた委員もいて、全員のギリギリの努力で研究会は成り立っています。そしていよいよYA本おすすめリストを編集する時期となりました。今日は参加者が少なかったため、いつもは発言控えめな委員の話もゆっくり聞くことができました。「高校では部活の後、別々の方向に帰るのであじけない」とか、「今日オシャレして来たのは、中学時代の仲間が久しぶりに集まるからだ」とか…。

■ピフリオバトル

今回は、紹介した本がチャンズ本になる確率が高かった。中高生メンバーが選ぶ流行りの小説がリスト掲載の候補として多勢を占める中、今まで触れたことのないジャンルの本にも目をむけてもらいたいと願う司書とのせめぎあい。ということで今回紹介された本はこちら↓↓↓

■チャンズ本

「列車はこの闇をぬけて」 ティルク・ラインハルト/作、天沼 春樹/訳
(徳間書店)2017年12月 2100円 Y943ラ 所蔵:本館

<内容>

グアテマラの少年たちが、メキシコを通り抜け、アメリカ合衆国へと向かう困難に満ちた旅のはなし。

<オススメポイント>

NEWSにもなっているアメリカ・メキシコの国境の話題。問題は国境を超えるだけでなく、そこにたどりつくまでの道のりにこそあった。今は平和に暮らす私たちもあらためて平和や貧困について考える機会になります。

その他紹介された本は…

「RDG」 「目でみることば」 「プラスチック・スーアの地球」 「エリアの騎士」(コミック)



次回の展示のテーマは「自立」です



See you next battle!!

